

- 公教育の目的・目標
憲法 - 教育基本法 - 学校教育法
新学習指導要領 等
- 佐賀県教育施策実施計画
- 武雄市教育方針

《 本校の教育目標 》

- 志を持ちゆめ実現を目指す人
- 自ら学びを求め人
- 心身ともに健康な人

- ◆ 生徒の実態
- ◆ 地域の実態

- 保護者の願い
- 教職員の願い

《校訓》 「自主」「誠実」「忍耐」

目指す学校像

- 生徒一人ひとりが夢を持ち輝ける学校
- 仲間と共に支え合い、安心して生活できる学校
- 教育課題に迅速に対応し、生徒の個に応じた支援と健全育成に取り組む学校
- 保護者・地域等の期待に応えるとともに、安心して生徒を任せられる学校
- 学校行事や会議の精選効率化に努め、教職員が健康的に日々の業務に従事できる学校

目指す生徒像

- 志をもち、夢に向かって、前進する生徒
- 目標に向かって、主体的に学ぼうとする意欲あふれる生徒
- たくましい気力と体力をもち、粘り強く困難に挑戦し成長する生徒
- 郷土を愛し誇りに思う生徒

目指す教師像

- 使命感にあふれ、常に学び続ける教師
- 分かる授業のために、互いに研鑽に励み、授業で勝負する教師
- 生徒一人一人の心を受け止め、夢の実現を支援する教師
- 豊かな人間性や社会性をもち、総合的な人間力のある教師
- 業務改善の意識を持ち続け、質の高い教育を持続的に実践していく教師

今年度の教育の方策

- 1 自分で考え判断し、決定し自ら行動する資質・能力を育てる
- 2 確かな学力の育成
- 3 たくましく生き抜くための心身の健康と体力増進
- 4 教職員が協力し、思いやりを持って指導できる環境づくり

重点課題

- 1 生徒会活動など自主的な活動の活性化
- 2 丁寧な進路指導と学習意欲の醸成
- 3 部活動を充実させ、生徒の満足度を上げる

学びの指導

- 1 豊かな学びへの授業改善
 - ・ 生徒理解
 - ・ 「めあて、流れ、振り返り、まとめ」の授業の見える化
 - ・ 「主体的・対話的で深い学び」の協働的問題解決型の授業実践
 - ・ 自分の考えを持ち安易に妥協せず議論する授業
- 2 学習環境
 - ・ 補充学習の確保（長期休業の活用）
 - ・ 認め、高めあう学習集団作り
 - ・ 学習規律の徹底
 - ・ ICT利活用教育の推進
 - ・ 継続的な校内研修の充実
- 3 家庭学習
 - ・ 意欲を高める宿題の工夫
 - ・ 「810」習慣の徹底

生徒指導

- 1 学級経営
 - ・ 決定・存在・共感のある温かみのある集団作り
 - ・ 心の居場所となり、自己有用感のある学級経営
 - ・ 保護者の信頼が得られるように日常的な連絡連携の重視
- 2 不登校対策
 - ・ 不登校をつくらないための早期発見・早期対応による未然防止
 - ・ 復帰をめざす居場所作り
 - ・ 相談体制の充実
 - ・ 関係機関とのきめ細かな連携と行動
- 3 道徳教育
 - ・ 考え議論する教科「道徳」の指導力向上
 - ・ 理解した道徳的価値の実践の賞賛
 - ・ 習得した道徳的実践力の習慣化の見守り

教育全般

- 1 特別活動
 - ・ 夢プロジェクトの推進
 - ・ 地域貢献を中心に、主体性を重んじ、果敢にチャレンジを支援する
 - ・ 自問掃除自問ノートによる心づくり
 - ・ 食育での体づくり
 - ・ 部活動で体力づくり
 - ・ 自治力の強化
- 2 特別支援教育の充実
 - ・ 障害のある生徒の支援
 - ・ コーディネーターや支援員が活躍できる支援体制
- 3 家庭・地域との連携
 - ・ 地域と共に子どもを育てる視点の充実
 - ・ 学校便り、学級便り、懇談会、家庭訪問、お知らせメール等の充実
 - ・ 保育園こども園、各小学校、関係機関との連携の推進

働き方改革

- 1 「本当に子どものために必要か」という視点からチームで業務を検討する。
 - ・ 業務の適正化・計画の機能性の観点からの教育課程の見直し
 - ・ 役割分担を検討し効率的にチームでの業務推進
 - ・ 人事評価制度の活用
 - ・ 学校運営協議会の活用
- 2 勤務時間外の縮減
 - ・ 時間外勤務月45時間以内の励行
 - ・ 業務と自己研鑽、業務外の明確化
 - ・ 定時退勤日の確実な実施
 - ・ 有給休暇の計画的な取得
 - ・ 土日の部活動の適正化
 - ・ あいさつから始まり職員同士が声かけ合う職員室

基盤 1

生徒・保護者・教職員すべてが「この学校でよかった」と思えるような学校の構築

基盤 2

「仁」（思いやりの心）の育成
相手を気遣い、仲間と共により良い学校生活を営むことのできる優しい人間の育成